

## CONTENTS

### 医療連携室 室長ご挨拶

### 新任のご挨拶

(歯科口腔外科)  
周術期口腔ケアについて

(総合診療科)  
原因不明の病に対する最後の砦として

(整形外科)  
肩肘スポーツ外来のご案内

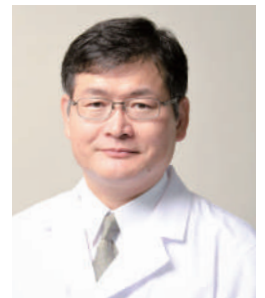
医療連携室からのお知らせ

編集後記

写真：藤の花

## 医療連携室 室長ご挨拶

この度、医療連携室 室長となりました荒若 繁樹と申します。私の専門である神経内科を例にしますと、パーキンソン病の患者さまなど、神経内科を受診されるまで時間を費やし、その間に症状が進行し辛い思いをされているケースが見受けられます。これは神経内科をアピールする努力の不足と痛感しております。医療連携室は、大阪医科大学附属病院の診療科が提供する日常診療から先進医療を知っていただき、地域の皆様がより一層ご利用しやすくすることが使命です。患者さまが必要なときに適切な医療を受けられるように、地域の先生方と大学病院を繋ぐ窓口として、患者さまの紹介・逆紹介をスムーズに行えるよう努めていきます。お気づきの点がありましたら遠慮なくご意見を伺わせていただき、連携機能の充実に活用させていただきます。地域の先生方と大学病院がより密接な関係を構築できるよう微力ながら努力を尽くす所存です。何卒ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



医療連携室  
室長

あらかわ しげき  
荒若 繁樹

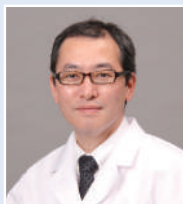
# 新任のご挨拶

リウマチ膠原病内科

たけうち とおる

科長 武内 徹

【平成30年4月1日着任】



当科では、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、血管炎などの膠原病の患者さまを診療しております。間質性肺炎などの合併症が多いのも膠原病の特徴で、病態に合わせた最新の医療が提供できるように努めております。診断や治療の難しいと思われる症例などにも対応させていただきます。どうぞお気軽にご紹介ください。

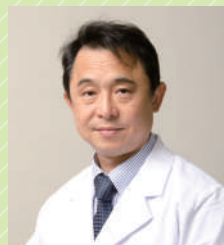
## Profile

- 専門分野  
膠原病学、関節リウマチ、強皮症
- 資格  
リウマチ専門医・指導医、認定内科医、臨床検査専門医・管理医
- 略歴  
昭和63年 大阪医科大学医学部卒業  
平成12年 大阪医科大学 病態検査学 助手  
平成17年 大阪医科大学 内科学I教室 学内講師  
平成24年 大阪医科大学 内科学I教室 講師  
平成29年 大阪医科大学 内科学IV教室 診療准教授

## 歯科口腔外科

# 周術期口腔ケアについて

うえ の たか あき  
科長 植野 高章  
なか しま よ いちろう  
医長 中島 世市郎



### ● 口腔ケアチーム

当科では、各診療科で加療予定および加療中の患者さまに対し、口腔ケアチーム介入による周術期口腔ケアを積極的に推進しています。口腔ケアチームでは手術前後における口腔内感染源の除去や挿管時における歯の脱落や誤嚥の予防、化学療法・放射線療法に伴う口腔粘膜炎などの口腔副作用のケア、終末期がん患者さまの口腔症状緩和などを行っています（写真1）。

### ● 口腔ケアチームの効果

口腔ケアチームでは、各科での加療内容と患者さまの口腔衛生状態に合わせた口腔ケアを行っています。多くの施設で在院日数の減少や周術期の有害事象予防に成果を上げていることが報告されています（図1）。

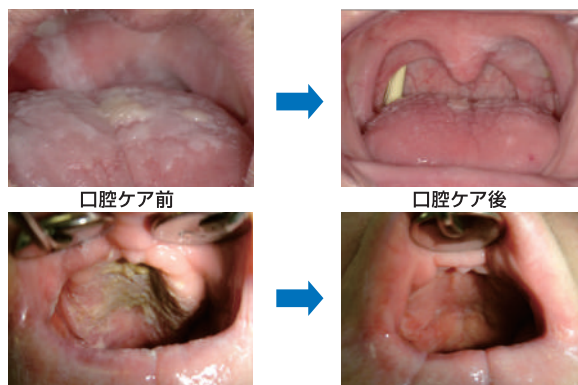
これらの取り組みは大きく注目され、保険診療ではこれまで診療科や症例が限られていましたが、本年度からは整形外科や脳神経外科、術後感染が予想される手術など対象疾患や診療科が大幅に拡大され、皆様に活用されやすい環境が整えられました。

### ● 周術期以外の口腔ケア介入

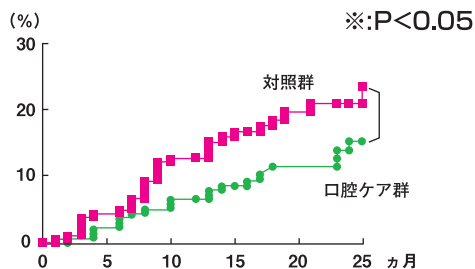
“周術期”口腔ケアという名前ですが、当科では周術期管理中の患者さまだけでなく、糖尿病や動脈硬化の歯周病スクリーニング、ビスホスホネート製剤投与前の口腔内感染源評価など、多様な疾患を対象に各診療科と連携をとった口腔ケアを行っています。各科の診療において口腔内トラブルに関する訴えはそれぞれ多岐に渡ります。当科ではこれからも各診療科

の先生方と密に連携をとりながら患者さまの口腔の衛生管理や機能向上に尽力してまいりますので、是非ともご相談ご依頼をいただきますようお願いいたします。

(写真1)



(図1)

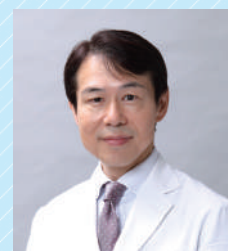


要介護高齢者に対する口腔衛生の誤嚥性肺炎予防に関する研究  
日歯医学会誌2001

総合診療科

# 原因不明の病に対する最後の砦として

すずき とみお  
科長 鈴木 富雄



当科では発熱や頭痛など頻度の高い徴候、全身倦怠感や多関節痛など症状が全身に渡り適切な受診専門科が選択しにくい場合、不明熱や原因不明の高CRP血症など他の医療機関で精査していただいた上でも診断がつかない症例など、多様で幅広い状況に対応しております。外来部門のみならず症状のある患者さまの診断、治療のための入院も行っており、院内の各専門科と柔軟な診療協力体制を保ちながら、多臓器にまたがる複雑な状況にも迅速かつ適切に対処しています。

地域の医療機関との関係性を極めて重要なものと考え、皆様方がお困りの問題に対して「迅速に答えを出して適切な方向性を示す」診療科として、ご紹介いただいた患者さまには最善の対応をさせていただいた上で、紹介元の先生方には詳細な報告書を送らせていただいております。原因不明の病を解決できる最後の砦として、現在近畿地方にとどまらず、全国各地

からご紹介いただいております。お困りの症例などございましたら、是非積極的にご紹介いただければ幸いです。

ご紹介の際は、本院医療連携室にてご予約をお願いします。



拙著です。  
不明熱診療を得意としておりますので、当該症例などございましたら是非ご紹介ください。

整形外科

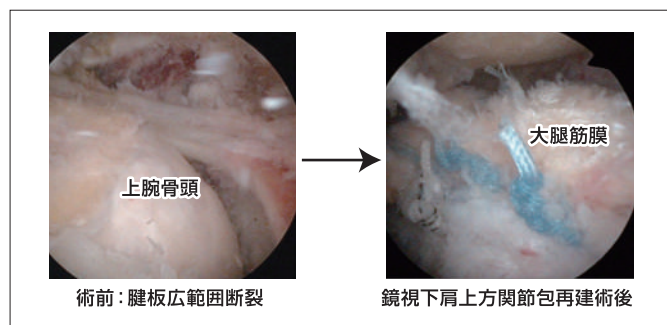
# 肩肘スポーツ外来のご案内

み はた て る ひ さ  
三 幡 輝 久



当科の『肩肘スポーツ外来』では、鏡視下手術から人工関節置換術まで世界最先端の手術治療を提供しています。

もし肩肘スポーツの疾患や外傷でお困りの症例がございましたら、是非『肩肘スポーツ外来』にご紹介ください。責任を持って治療させていただきます。なおご紹介いただく際は、本院医療連携室にてご予約をお願いします



■ 肩関節

疾患： 腱板断裂、肩関節脱臼、五十肩、投球障害肩、関節唇損傷、石灰沈着性腱板炎、変形性肩関節症、関節リウマチ、上腕骨頭壊死など

手術： 鏡視下腱板修復術、鏡視下肩上方関節包再建術、鏡視下肩関節唇修復術 (Bankart修復術、SLAP修復術など)、鏡視下肩関節授動術、鏡視下石灰沈着除去術、鏡視下烏口突起移行術 (Bristow手術、Latarjet手術)、鏡視下骨接合術、人工肩関節置換術、人工骨頭置換術

■ 肘関節

疾患： 肘離断性骨軟骨炎、肘内側側副靭帯損傷、テニス肘、肘遊離体、野球肘、肘部管症候群など

手術： 肘内側側副靭帯再建術 (Tommy John手術)、鏡視下骨軟骨移植術、鏡視下遊離体摘出術、鏡視下テニス肘手術、鏡視下骨棘切除術、尺骨神経移行術など

担当表

肩・肘関節外科 スポーツ整形外科	月	火	水	木	金	土
午前				三 幡	三 幡 長谷川	

## 医療連携室からのお知らせ

### 病院ホームページが新しくなりました

- 使いやすく見やすいデザイン・レイアウトになりました
- スマートフォン、タブレットなどの携帯端末に対応しました
- 病院の最新情報を紹介する新コンテンツ「トピックス」ができました

パソコン画面



スマートフォン画面



是非ご覧ください

### 「平成29年度 難病患者在宅医療支援事業研修会」を開催しました

去る3月8日(木)午後2時～4時、本院におきまして『在宅医療を知ろう』をテーマに研修会を開催しました。

まずはじめに、本院難病総合センター医療ソーシャルワーカー小野より、「難病総合センターの紹介」として、活動内容や難病患者在宅医療支援事業における同行訪問事業への取り組み、医療ソーシャルワーカーとしての役割について講演いたしました。

つづいて、東京都立神経病院 清水俊夫先生から、「神経難病における栄養障害と栄養管理」をテーマに、ALS(筋萎縮性側索硬化症)患者における胃瘻による栄養方法の意義、疾患ごとの栄養障害の原因や対策についてご講演いただきました。

地域の医療機関や関連施設より、120名を超える多数のご参加をいただき、皆様と在宅で生活をする難病患者さまの生活や栄養について考える貴重な研修会となりました。

平成29年度  
大阪府立総合  
難病患者  
在宅医療支援事業  
研修会

テーマ  
「在宅医療を知ろう」  
神経難病における栄養障害とその対策  
—ALSを中心に—

東京都立神経病院 脳神経内科部長  
清水俊夫 先生

日時 2018年3月8日(木)  
14:00～16:00 (13:30開場)

会場 大阪医科大学  
臨床第一講堂  
〒569-6586 大阪府高槻市大学町2-7

参加費 無料

講師プロフィール:  
清水 俊夫(しみず しゅんお) 先生  
東京都立神経病院 脳神経内科部長  
神経科 部長  
大阪医科大学 脳神経内科 教授  
大阪医科大学 脳神経内科 准教授  
大阪医科大学 脳神経内科 講師  
大阪医科大学 脳神経内科 准講師  
大阪医科大学 脳神経内科 医員  
大阪医科大学 脳神経内科 医学生  
大阪医科大学 脳神経内科 看護士  
大阪医科大学 脳神経内科 検査技師  
大阪医科大学 脳神経内科 放射線技師  
大阪医科大学 脳神経内科 薬剤師  
大阪医科大学 脳神経内科 臨床工学技士  
大阪医科大学 脳神経内科 臨床検査技師  
大阪医科大学 脳神経内科 臨床検査士  
大阪医科大学 脳神経内科 臨床検査技師  
大阪医科大学 脳神経内科 臨床検査士  
大阪医科大学 脳神経内科 臨床検査技師  
大阪医科大学 脳神経内科 臨床検査士

## 編集 後記

瞬く間に桜は散り、新緑がまぶしく輝く。街にはミズキの花が白に薄桃色に鮮やかに咲き乱れ、新しい息吹を感じさせている。生命が育まれていく。

それは組織も一緒に、スタッフが入れ替わり、この時期刷新する人事に新鮮になる思いを一層深めている。

スピードスケートの金メダリスト小平奈緒選手の言葉が目に残る。

ガンジーの『明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ』との言葉を引用して、こう続ける。自分の中に

種が蒔かれたようで自力で解釈し、行動に移して、その種を成長させることに楽しみを感じる、という。

巡り合う言葉を、言葉だけで終わらせない。自らのものにして、それを育み活かしていく。競技の技術的な成長も言葉を綴る中にあるという。アスリートの美しさも実は内面にあった。成長はオートマチックに起きない。自覚の上に立った、不断の進化にある。自然の営みも果てしない淘汰の中にある。新しい目標を言葉とともに胸に刻み、成長のためまた一歩を踏み出さないといけない。(M・M)

## 医療連携室ご利用のご案内

### 医療連携室「FAX紹介申込書」受付時間

平日/8:30～20:00 土曜日/8:30～12:00

※第2・第4土曜日は休診です。

※FAX受信は24時間可能(休診時も含む)。

但し受付時間以外の受信については翌診療日以降の対応となります。

大阪医科大学附属病院広域医療連携センター医療連携室

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

● TEL.072-683-1221 (大代表) 内線2308

● TEL.072-684-6338 (医療連携室直通)



送信先 FAX 072-684-6339

本院専用のFAX紹介申込書及び封筒をご用意しております。ご利用の場合は、電話またはFAXにてご請求ください